

南海トラフ巨大地震を想定したBCP(事業継続計画)訓練の実施について

記者各位

当社(社長:杉森 務)は、11月28日、「南海トラフ巨大地震を想定したBCP訓練」を実施いたしましたので、お知らせいたします。

当社にとって、エネルギーの安定供給は最重要責務であり、自然災害や近い将来の大震災等の発生が危惧される中、ライフラインの維持を担う当社には、危機発生時においても高い耐久力や回復力が求められます。当社は、南海トラフ巨大地震および首都直下地震発生時の緊急石油供給への対応能力を強化し、その実効性を担保するために、当社の系列全体のBCPを策定しております。また、訓練等を通じてBCPの実効性等を評価し、より実効性の高いものとするべく、不断の見直しを行っております。

今回の訓練は、南海トラフ巨大地震を想定し、参加者にはシナリオを開示せず(1)災害時の行動・情報共有の流れの確認、(2)本社・被災拠点間の連携の確認、(3)石油製品の供給回復に向けた方針や、計画の立案を目的として実施いたしました。あわせて、「石油の備蓄の確保等に関する法律」に定める「災害時石油供給連携計画」の初期の行動を確認いたしました。

本訓練で得られた課題の速やかな解決を図り、当社BCPおよび各種マニュアル等へ反映させるとともに、今後も事業継続マネジメントシステムの一環として継続的に訓練等を実施し、実効性のある対策を推進することで、石油製品の安定供給ならびに防災・減災に努めてまいります。

以上

【訓練概要】

開催日時・場所	2014年11月28日(金)10:00~15:30 JX日鉱日石エネルギー(株)本社
訓練参加者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 杉森社長(災害対策本部長)他本社役員 16名 2. 災害対策本部事務局員および各チーム員 62名 合計 78名 3. 大阪・麻里布・大分製油所、関西・中国・九州支店およびJXホールディングス(株)の担当者
訓練目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害時の行動・情報共有の流れの確認 2. 本社・被災拠点間の連携の確認 3. 石油製品の供給回復目標を達成するための方針や計画の立案
訓練内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当日午前10時に南海トラフ巨大地震が発生したと想定し、本社災害対策本部を立上げBCPを発動した 2. 非公開の訓練シナリオに基づいて、対策本部の各チームがBCPおよびマニュアルに則って、被災情報(従業員の安否、当社インフラ被災状況、社会インフラ被災状況等)の収集・整理を行った 3. 一部拠点からは、被災によりインターネットが使用不可となったことを想定し、被災情報データを衛星電話回線を通じて本社対策本部へ送信した 4. 被災当日午後を想定して災害対策本部会議を開催し、被害状況および今後の対応策を共有化した 5. 被災翌日午後を想定して災害対策本部会議を開催し、当面の供給・転送計画および販売方針について意思決定を行った

【訓練の様子】

